

夢

かぎりなく



●第7期「宮城倫理経営塾」情報交換会が
開催されました。
宮城県



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

会長あいさつ

「小暑」



宮城県倫理法人会 会長 田中 裕人
(株式会社 菓匠三全 代表取締役社長)

間もなく「小暑」。定禅寺通りの緑は濃くなり、その色の強さにハッとします。震災から3カ月を数えますが、県内でもはっきりとした温度差が感じられるようになりました。震災前と変わらぬ生活に近づいている処、そうではない処……………。しかし自然の緑を見るといずれの場所でも同じ時を刻んでいます。

自然の営みに意思があるか定かではありませんが、一番日照の長い時(夏至)に太陽を受けて背を伸ばし、美しい花を咲かせ、子孫を残して、自ら栄養分となって朽ち果てる。自然の美しさはその自己完結性にあると言えるでしょう。

人の営みである仕事も、同様です。経験したことの無い様なことが、次々と起こる毎日。しかしそこには必ず解決の糸口があり、嘆き悲しんでいる間はありません。打つべき時に、打つべき場所で判断を下す。自分の仕事について考え抜かなければ、最適のタイミングも正しい方策は見えて来ないのです。集中して自分の仕事を考えるに考え、真剣勝負を重ねていけば、間違いなく磨かれ、高められます。このような時期だからこそ新しい方向性を試すチャンスかも。日々研ぎ澄まされた自然の営み同様、仕事を磨き強くしなやかな会社を作る事が、今を生き抜く私達に与えられたことでしょう。

戦後の混乱期に、生きる「くらしみち(絶対倫理)」を見出した丸山敏雄先生。その「万人幸福の栞」を開いて、自分の行動を、考えを照らしてみると、毎回新しい気付きが生まれます。また、朝の清澄な空気の中に端坐し、新しい考えを聞くこと、自らの考えを深めること、倫友と情報を交換することも、私達の背中を押してくれるでしょう。今に固執することなく、時代を読み風によって進むことです。

暑い日差しの中、復興・復旧に励む皆様の大変さを思うと本当に頭が下がります。今夏、節電対策や放射能問題など、取り組む課題は数多くありますが、各人が胸に秘めた目標を必達していきましょう。

厳しい環境を生き抜き洗練された自然のDNA。そのDNAは自然の一部である私たちにも流れているはずで、前を向き、夢と希望を胸に前に進むのです。今回の大震災から学ぶべきもの。それを胸に刻んであゆんでいきましょう。



第7期「宮城倫理経営塾」 情報交換会が開催されました。

◆日時 平成23年6月4日(土)午後4時から8時

◆場所 仙台茂庭荘 第3・4会議室

第7期の倫理経営塾は3月11日の東日本大震災の影響で、2月に一回目を開催しただけで中止となりました。そのような事情から、来年の2月までこのまま時を過ごすのは大変もったいない事であり、お互いの顔を見て元気になる場を作る事となり、今回の情報交歓会が開催される事になりました。

会には田中会長代行をはじめ、総勢24名の皆様にお集まりいただきました。会は午後4時より及川副塾頭の司会で進められました。

第一部の情報交換会は、はじめに佐藤塾頭のご挨拶をいただき、引き続き参加者全員から近況報告として、3分間スピーチを行いました。内容は自社の被害状況、大震災以降に取り組んだ事、そして今後の課題を話していただきました。直接・間接の被害状況は人的被害も含めて実質被害なしの方から、商品の流出などで数億円と各社ばらばらで、運不運を感じざるを得ませんでした。何とかしようと皆様前向きで、大変お互いが勇気付けられるスピーチの時間となりました。

第一部の最後として曳地相談役から、「非常時における対応について」の特別講話をいただき、休憩ののち場所を改めて第二部の懇親会に移りました。

懇親会では、田中会長代行と櫻井副塾頭から、国からの資金調達の方法や、経営者としての普段からの心構えなど、今だからこそ聞ける非常に有意義なお話を伺う事が出来ました。宿泊した人も12名と多く夜遅くまで話に花が咲き、大変元気のもらえる情報交換会となりました。

年内にあと1回開催する予定でありますので、その時は奮ってご参加をいただきますよう、よろしくお願い致します。

(副塾頭 及川 明)

第7期「宮城倫理経営塾」
情報交換会の模様



浅野塾生スピーチ



高橋塾生スピーチ



竹田講師スピーチ



佐藤副会長スピーチ



桜井副塾頭講話



佐藤塾頭挨拶



及川副塾頭司会



菅野会長スピーチ



庄子会長スピーチ



大友講師スピーチ



曳地相談役特別講話



懇親会



田中会長代行講話



乾杯



石巻市倫理法人会

この度の東日本大震災により亡くなられた方々に対し深い哀悼の意を表しますと共に、被災をされました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

2011年3月11日(金)午後2時46分。かつて経験をしたことのない地震が東日本を襲いました。石巻では1960年(昭和35年)に発生したチリ地震津波の体験から、津波には常に深い関心と注意を払ってはいったものの、今回の津波は私達の予想をはるかに超えるものでした。

想像を絶する高さの津波が社屋や住宅を襲い、一瞬にして自然豊かな町並みを、瓦礫の山と化してしまいました。津波から何とか逃げ出した人々は声もなく立ち尽くすのみで、さらに追い打ちをかけるように冷たい雪が人々の体めがけて降り続けました。

津波により流された社屋や住宅、船舶が町並みをなぎ倒し、流されてゆく人々をただ見つめることしか出来ない、そんな光景があちらこちらでありました。

社員や家族との安否を確かめようと、携帯電話で連絡を取ろうとしても繋がらず、ただ生きていることを願いながら悶々とした数日間を送った方々も多くおりました。

あれから3ヶ月。全国の倫理法人会の方々をはじめ、自衛隊の皆さんや各県の自治体職員、ボランティアの方々の大きなご支援により、石巻地域も次第に以前の姿を取り戻そうとしております。

未だ行方不明者も多く、地元新聞には震災によりなくなられた方々の死亡広告が毎日数多く掲載されています。

絶望に打ちひしがれていた心も、全国、全世界の皆様方の暖かい励ましの言葉や活動により、個々の復興への思いが強まり、「がんばろう!! 石巻」を合言葉にみんな一丸となって進んでおります。

石巻市倫理法人会でも、6月1日よりモーニングセミナーを再開いたしました。倫理の理念を常に確かめながら、会員一同「石巻の復興」のために進んでまいりますので、今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。

平成23年6月10日

(石巻市倫理法人会 広報委員長 小野 賢逸)



石巻市立病院
焼けただれた南浜町地区に孤立する石巻市立病院



中心商店街
商店街は崩れ落ち、道路には船が横たわっています。



内海橋
石ノ森萬画館や旧ハリストス正教会のある内海橋には流れてきた家屋や船が乗りあげました。



門脇小学校
南浜町地区の門脇小学校は焼け焦げ、周りは瓦礫の山と化しました。

多賀城市倫理法人会

この度の東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

多賀城地域も、マスコミ等の報道でご存知のことと思いますが、多大の被害を受けました。近くの仙台新港・七ヶ浜町に、最大10メートル以上の大津波が押し寄せ、多賀城地区国道45号線まで車や、がれきが押し寄せ、車の山となり多数の方の死亡が確認されました。多賀城市倫理法人会会員も多大の被害を受けました。事業所の被害状況は、全壊 13社・半壊 4社・一部損壊 17社・他 車の塩水害も多数となり、当モーニング会場、朝食で名のある和食の小島も津波により、地下水没・1階浸水・車2台流失してしまいました。3月11日14時46分にマグニチュード9.0の地震発生・15時51分10メートル以上の大津波襲来・21時過ぎ雪の降る中石油コンビナートでの爆発音そしてどす黒い猛煙、地域により避難指示発令、電気・暖房・食料等無く寒い中の一晩、最悪の3月11日と成りました。

5月11日より、モーニング会場を、塩釜グランドホテルに変更再開し、7月6日より以前と同じ和食の小島で再開致します。宮城県各単会におかれましても、多大の被害を受けられた多数の会員の皆様、この大震災を、倫理法人会の力を合わせ、乗り越えていきましょう。

(多賀城市倫理法人会 広報委員長 佐藤政栄門)



石油コンビナート火災
(自衛隊避難所より)



車の山 (多賀城ソニー前)



船が1階屋根の上に (七ヶ浜町)

★予告「復興に向けて」を合い言葉に 経営者の集いを開催致します!!

- 日時/平成23年7月12日(火) 18時30分~
- 会場/多賀城市市民活動サポートセンター
多賀城市中央二丁目25番3号
TEL 022-368-7745
- 講師/法人レクチャー 菅原 英剛様
(栃木県宇都宮東倫理法人会 副会長)

仙台東倫理法人会

◆日時 4月18日(火) ◆場所 ホテルレオパレス仙台

3.11大震災後、復活したモーニングセミナー報告

仙台東倫理法人会は4月18日のホテルレオパレス仙台様の再オープンを受けて28日(木)よりモーニングセミナーの開催を始めました。

第295回は仙台東倫理法人会 江刺文康会長の「11日の震災以降仕事を続けられる事に感謝している。」と挨拶から始まり、特別ゲストの田中裕人宮城県倫理法人会会長代行より、「日本はこの震災で変わらざるをえない」「変化についていけない生き物が絶滅するように、世の中が変わり、お客様が変わっているのに、自分だけが前と同じ商売のしかたをしていたら？」という大変示唆に富むお話をいただきました。

会員リレースピーチは「震災体験と現況について」のテーマを松浦モーニングセミナー委員長進行で松本卓司専任幹事、小野義隆副会長、松浦月子MS委員長、加藤友人様、菅井清浩親睦委員長の5名の方に被災体験や今後の抱負をお話いただきました。

5月5日第296回は宮城県信用保証協会 常務理事 櫻井久秀様の講話、「宮城県は他県に比べて、保証付き融資の利用率が低い。他県では協会の保証が企業の信用アップになると考えられています。」「あらゆる経営上の相談に乗ります。協会は保証だけが仕事ではありません。土日もやっていますので気軽に相談してください。」とお話いただきました。

5月12日第297回は仙台東倫理法人会 副専任幹事 細川正智様 社会保険労務士のお立場から震災後の経営者の責任、労務管理、助成金について説明していただきました。また実家が石巻で両親は無事で母親を水の中を避難所へ、その時の自分の行動についてもお話していただきました。

5月19日第298回は仙台東倫理法人会 相談役 宍戸孝郎様仙台東倫理法人会発足時に「楽しく学び、スナオに実践!!」のスローガンを決めるとき万人幸福の葉をもとにしたこと、昨年11月末から体調不良になったこと、仙台空襲、宮城県沖地震、そして今回の大震災を体験した事をいかに行かなければならないと、久しぶりの宍戸相談役のお話を聞く事ができました。

大震災のこのような時こそモーニングセミナーへ参加し会員同士の絆を深め日本創生に進んで参りましょう。

(仙台東倫理法人会 広報委員長 渡辺一彦)



江刺会長



田中会長代行



進行松浦モーニングセミナー委員長



松本専任幹事



小野副会長



会員 加藤様



講話中の櫻井久秀様



菅井親睦委員長



宍戸相談役



セミナー終了後にっこり記念撮影

仙南倫理法人会

◆日時 4月19日(火) ◆場所 ホテル原田(岩沼)

「震災後初となるモーニングセミナー」

未曾有の災害から1ヶ月余りが過ぎました。太平洋に面する名取・岩沼・亘理・山元の2市2町からなる当仙南倫理法人会の会友も、佐藤会長をはじめ甚大な被害を被りました。すべての人々が、今後の不安を抱える中、ほぼ一月半ぶりにモーニングセミナーが開催されました。33社/34名が集まり、「夢かぎりなく」が力強く、高らかに斉唱されました。

今回のモーニングセミナーは30分延長して、佐藤智明会長、櫻井忠男相談役、原田善征県相談役お三方の会員スピーチとなりました。初めに、今回の津波災害により店舗とご自宅を失われた佐藤会長が、被災当時の状況を語られました。地震発生から津波到達までの間、従業員への避難指示、消防団団員としての活動、そしてご家族との行動。最初の避難所(公民館)から離れた次の避難所(小学校)への移動中に波が押し寄せ、使用していたバスにも波をかぶったそうですが、可能な限り避難者の移送に尽力されたそうです。続けて、今回の災害は余りにも広く大きいが捉え方は二つしかない。下を見るか、上を見るか。従業員、家族とも人的被害が無かったのは幸いであり、「苦難は幸福の門」として苦難を乗り越え再興に向かう、と語られました。

次に、ご自宅と介護施設を床上浸水の被害に遭われた櫻井相談役は、故丸山敏雄理事長の「自然災害に対して」まとめられたプリントを配られ、資金面を含めた今後の指南を語られました。最後に原田県相談役が、先月7日に当法人会で開催された倫理経営講演会に出席され、翌週のモーニングセミナー講師を予定されていた、故石川県会長との思い出を語られました。原田県相談役はガソリンをかき集め、石川県会長の出棺に立ち合わせられたそうで、非常時の人間の尊厳を通し、改めて東日本大震災の惨状を語られました。お三方とも共通して語られたのは、今回の災害に対して、経営者として現実を見つめ、前向きに対処し、より良くなるという信念を持つこと。です。モーニングセミナー後の朝食会は無料となり、多くの会員が再会と無事を喜び、よりおいしい朝食となりました。

(仙南倫理法人会 広報委員長 中澤 勇)



被災状況を語る佐藤智明会長



櫻井相談役



原田県相談役



多くの方が出席しました

仙台太白倫理法人会

◆日時 5月29日(日) ◆場所 杜の公園ゴルフクラブ

「復興支援チャリティコンペ」

先日5月29日(日)、太白倫理法人会では復興支援チャリティコンペと題して、会員・ゲストあわせて総勢21名の参加者によるゴルフコンペが、親睦委員会・青年委員会合同企画として開催されました。東日本大震災による参加低迷が懸念される中、チャリティゴルフとして企画した事もあり、多くの皆様のご参加を頂戴する事ができました。

当日は早朝より生憎の雨模様でしたが、会場周辺は雨の影響も落ち着き、どのチームも無事に全ラウンド終了する事ができました。開催後は通例であれば、懇親会の開催を催しておりましたが、今回は被災直後という事もあり、検討の末自粛致しました。よって会場である「杜の公園ゴルフクラブ内」において粗餐&表彰式が執り行われました。

大会の結果は、親睦委員長の河江 勝さんがベストスコアでトップに立ち、会員・ゲストともに楽しいイベントの幕が閉じられました。震災後の実施という事で、太白倫理会員中心でのイベントとなりましたが、何分ご参加された皆様にご理解とご協力に、この場をお借りして御礼申し上げます。今後の貴殿の発展及び益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(太白倫理法人会 広報委員長 五十嵐敏信)



大崎倫理法人会

◆日時 5月21日(土) 8時30分～ ◆場所 松島国際カントリークラブ

～絆を強く がんばろう大崎・宮城～大崎倫理法人会震災復興支援ゴルフコンペ

未曾有の大震災から2ヵ月半、イベントや恒例行事、お祭り等の自粛ムードが各地で見られます。そんな中、震災復興支援ゴルフコンペが開催されました。こんな時だからこそ前に向かって進んでいくその行動で、地域に元気を伝え明日への活力と希望へ繋げるよう、そして大崎・宮城の輝く明日への願いを込めて、行われました。朝、小雨模様で心配された天気も集合時間には晴れ上がり、若葉からの爽やかな風の中でプレーすることが出来ました。商品は震災復興支援商品としてNPO法人中田くらしネットワークさんプロデュース(株)菅野食品さん製造の「小松菜うどん」と、石巻のさばの水煮と味噌煮の缶詰。優勝は菅野会長、準優勝は中島治さんでした。



★予告 平成23年度経営者の集いのご案内

- 日時/平成23年7月11日(月) 18時30分～
- 会場/芙蓉閣2F ビクトリア
- 講師/栃木県宇都宮中央倫理法人会 専任幹事 高橋 欣夫氏

◆日時 5月24日(火) ◆場所 古川南中学校

挨拶運動始まる

この運動も今年で6年目となり、地域の皆様に着実に受け入れられております。明るい挨拶で生徒さん達が元気の学校生活が送れるよう、活動を続けていきたいと思っておりますので多数の参加をお待ちしております。

(大崎倫理法人会 広報委員長 今泉信吾)



仙台若林倫理法人会

◆日時 6月7日(火) ◆場所 ホテルレオパレス仙台

平成23年度 仙台若林倫理法人会 倫理経営講演会

平成23年6月7日(火曜日)、仙台東口 ホテルレオパレス仙台にて開催される。

倫友他ゲスト多数参加成功裏に開催される。(120名)

はじめに、仙台若林倫理法人会会長 斉藤重光より開催にあたり挨拶の後、第一部は、事業体験者 株式会社ホテルニューオータケ 大嶽龍太郎氏による演題「思いの力」事業の岐路に立った時、倫理がどう役立ったかーのテーマで講演がありました。

第二部は、社団法人 倫理研究所 常任理事普及本部長 中西 浩氏による「トップを支える家庭力」のテーマで講演がありました。

講演会終了後、仙台若林倫理法人会会員の焼肉レストランひがしやま長町店へ場所を移し懇談会が開催された。(39名参加)

懇談会では、仙台若林倫理法人会会員ソプラノ歌手 勝又久美子氏のミニコンサートのサプライズもあり格調の高い話題で大いに盛り上がった。

去る5月11日モーニングセミナーで当副会長 石井吉雄(イシイ株式会社)よりLED携帯ライトが200本当会を通じ寄付される。

(仙台若林倫理法人会 広報委員長 奈須野盛一)



登米市倫理法人会

◆日時 6月3日(金) ◆場所 ホテルニューグランヴィア

「設立15周年記念式典」

平成23年6月3日(金)ホテルニューグランヴィアにおいて登米市倫理法人会「設立15周年記念式典」並びに「倫理経営講演会」が開催されました。本来であれば、登米市倫理法人会15周年記念式典は4月15日開催の予定でしたが、3月11日の震災で延期し年一回の行事である倫理経営講演会と同時開催となりました。当日は県役員会の2日会も登米市で開催され、(社)倫理研究所 荒木 良仁 北海道・東北方面長や、県役員・各単会役員のご出席もいただき、15周年にふさわしい厳粛で華やかな式典になりました。

冒頭、震災の被害者への黙祷に始まり、日下 修 記念式典実行委員長から「15年の歩み」の説明がありました。特に平成16年38社まで落ち込んだ会員数を103社へ復帰させた並々ならぬ苦労話は、ともに会員拡大に歩いた役員はじめ会員の皆さんも感慨ひとしおの様子でした。その後荒木良仁方面長の式辞、つづいて田中裕人県会長代行からの祝辞では、石川茂男会長の気持ちに鑑み皆で丸となり会員拡大と登米市倫理法人会の一層の発展を期待する旨のお話をいただきました。

その後、感謝状贈呈があり、鹿野博之初代会長、伊藤則夫2代会長、伊藤俊郎4代会長、沼田昭三郎前副会長に小泉会長より感謝状が贈呈されました。(鹿野博之初代会長は病氣療養中のため当日は欠席)



荒木良仁方面長の式辞



田中裕人県会長代行祝辞



日下 修実行委員長
「15年の歩み」



感謝状贈呈伊藤則夫2代会長



伊藤俊郎4代会長



沼田昭三郎前副会長

「倫理経営講演会開催」

登米市倫理法人会 設立15周年記念式典に引き続き同会場にて18時30分より平成23年度倫理経営講演会がありました。講師は(社)倫理研究所 法人局 参事・法人アドバイザー 大橋俊作氏で「創生の経営道」というタイトルで講演いただきました。「純粋倫理」の考え方と実践を、レジメと「万人幸福の葉」の内容に基づき詳しく丁寧にお話いただきました。



講演会に先立ち挨拶する小泉会長



講演する大橋俊作講師



熱心に聞く会員

「15周年記念式典祝賀会並びに倫理経営講演会懇親会」

記念式典、倫理講演会に引き続き、同ホテル1階にて祝賀会並びに懇親会が開催されました。

はじめに平成8年の設立以来、15年間の歩みを7分間のビデオでご覧いただきました。会員より「若かったなあ」の声が多く出て、15年の年月の重さを感じた瞬間でした。小泉会長の挨拶の後、布施孝尚登米市長より倫理経営講演会の感想を含めてご祝辞をいただきました。

懐かしい15年間のいろいろな思い出のお話や、各単会、県役員との交流のあと、余興の青森県五所川原市より来ていただいた、「スコップ三味線」の演奏に感動、さらに会員の飛び入りによる合奏には、前もって練習していたのでは、と思わせるほどの腕前にビックリ、大盛り上りのうちにお開きとなりました。

(登米市倫理法人会 広報研修委員長 二階堂 敏雄)



布施孝尚市長の祝辞



伊藤俊郎相談役の乾杯



スコップ三味線 高橋様



県役員・単会役員を含めた
会員による合奏

仙台宮城野倫理法人会

「地球倫理」を推進する倫理研究所は、未来に生きる子孫への責任として1999年より沙漠緑化活動に取り組んでいる。宮城県倫理法人会も2008年から3年連続で植林活動。その中国内モンゴル自治区クブチ砂漠「恩格貝」で2007年から現地指導員として長期ボランティアを行っている、

田辺美穂子さん来県!!

- 支援物資をたずさえ被災地入り！弾ける笑顔で献身的活動！
- 思わず涙腺弛む砂漠隊員！健気な行動力に勇気と希望の灯！
- 「地球を守ろう！」瞳を輝かせ真摯に訴える生き方とは



カリマンタンの思い出熱く語る(仙台3月27日)



沙漠緑化隊の仲間と再会



ボランティア活動中に新たな出会いも誕生

田辺さんの経歴と明るく積極的な生き方と実践活動の一端を追った

「宮城緑化隊の皆さんご無事でしたか？」

広島市出身の田辺美穂子さんが被災地ボランティア活動！

- 出版社勤務を退社後、東南アジアを中心にまわる旅人をつづけながら旅行会社で派遣の添乗員を務める。
- 現在は一年の半分を日本で暮らし、世界の旅歩きのための資金を集めつつ植林活動のお手伝いをしている。
- この記事が届くころ彼女は、われら宮城緑化隊の苗木を守り育てるため中国クブチ砂漠の地で奮闘されていることだろう。

2005年	スマトラ沖地震に被災地入りしボランティア活動
2006年	中国内モンゴルクブチ砂漠「恩格貝」(おんかくばい)に植林ツアー参加
2007～2010年	クブチ砂漠「恩格貝」にて植林ボランティア(3月末～10月末まで)
2008年	インド、コルカタ「マザー・ハウス」にてボランティア活動
2009年～2010年	カリマンタンにて森林再生プロジェクトの植林ボランティア
2011年	クブチ砂漠「恩格貝」にてボランティア(6月～10月末までの予定)

※この間も世界の被災地におもむき災害ボランティア活動多数



前列左から2番目が田辺さん(七ヶ浜 5月22日)

「いま世界の森がピンチに！」

- 世界の約半分の生物が暮らす熱帯林。数千万の生き物がこの森から生まれる。
 - 森とくに熱帯林は洪水を防ぐ役目、雨をもたらせ酸素と二酸化炭素の吸収・排出の調整をおこない気候も和らげ多くの薬草、植物を生み出す。
- 以前広大な面積を占めていた世界の原生林はわずか30年で8割が破壊された。いまカリマンタンなど世界の森がピンチだ。

- 森林破壊は地域によって異なるが多くは商業伐採。熱帯材輸入は日本が第3位。現在熱帯地域で行われている択伐も森を30～70%破壊で、持続可能な森林経営ではない。

- 国際熱帯木材機構(itto)は2006年、持続可能な森林経営の行われる熱帯は5%と警告している。



2011年5月

滞在記 8日間

- 東日本大震災被災地に物資支援とボランティア活動に尽力
- 子どものPTSD防止、遊びのボランティアに参加(宮城県七ヶ浜亦楽公民分館)
- 雨のなか寝具、食器等の搬入ボランティア活動(宮城県七ヶ浜町宮仮設住宅)
- 被災動物のサポートボランティア活動(宮城県動物愛護センター・黒川郡富谷町)
- 経営者の昼食会で講師として地球を守るボランティア活動の体験発表(仙台駅西Mホテル)
- 被災動物のサポートボランティア活動(民間施設ドッグウッド・仙台市青葉区芋沢)

(仙台宮城野倫理法人会 広報委員 櫻井光雄 ・第二次(2009年)、第3次(2010年) 沙漠緑化隊員)